

同訓字解

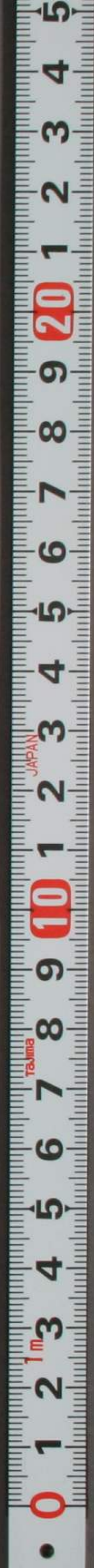
嵐山文集  
月

同訓字解  
全冊

ホ 4  
イ  
ロ  
ハ  
ニ  
ホ  
ハ  
ト



ホ 4  
863  
1



明 4  
863  
1-7

木 2



同訓字解序

蘇譯寡華字夥蘇人之於用華字愆於蘇習者不少焉凡  
字古經為本不審於古經述而轉用之必謬其字義後世  
華人之用古字猶時有愆也况於蘇人乎夫字各有訓與  
詁如云仁人也義宜也政正也皆訓也是謂通音譯民亦  
使由之所謂洗心无隱也如云親為天尊賢為大其身  
正不令而行皆詁也是唯君子修之以徹德術事為以安  
久者也後人不知混訓詁為一義所以不上達也又有會



意形象音響之釋、輕重聯牽、佳字奇字之殊、同韻譯而異、  
華字者、不只數百已、字義各隨而異、爲不只餘譯已於華、  
訓亦有之、此亦民之俊秀者、若有凝思乎茲、則進之於大、  
學、古文道也、童蒙之士、不可不憤排矣、我嵐山先生之於、  
古經、必先辨之、以誨諸弟子、於是乎有馬氏九註及論語、  
學庸老子等、及儀禮、記、孝經、左氏、孟莊、列馬、斑、韓、柳等、  
之明解、又有家集前後編、當哉、蓋傳之於靜齋先生、以述、  
之、云、爲一時元寬請、同訓異字之解、先生乃口授之、小子

謹筆受之、既而成編、因命曰同訓字解、必依蘇譯者、欲、  
使童蒙易探獲也矣、天保元年冬十二月、三河中嶋、  
元寬謹序

嵐山馬先生口授 門人三河 中根楨 筆受  
 中嶋元寛 筆受  
 伊勢 渥采平 輯校

再考 自以至登

同訓字解一

馬嵐山先生口授

三河 中元寛道簡筆受

補

イロハニホヘト

伊勢 渥采平 輯校補

伊

古 古者 古昔 古在昔

○古ハ今ニ對シテイフ今ハ古ラ師トセ子ハナ

ラヌト云ハデコレヲ用ルナリ○古者ハ者ハ

コレヲ別ツコトハナルユヘ今ハ隔別ノ事

ナリトイフ心ナリ○古昔ハ昨日ノユトモ疇

昔トイフユヘ人事人情古今カワリシ

旭山先生 辨聽録異同

○古ハ今ニ對シテ云

口古者ハ今ニ別ツナリ

口古昔ハコワイフガアリト云ナリ

△商嶺ニ自古在昔先民有作ト云

石字ク之ヲ云シ古昔ノ間ニ在ラズムユ

ハナリ 在昔ト用レハムカレト云

ナレト云 在昔ト用レハムカレト云

ナレト云 在昔ト用レハムカレト云

ナレト云 在昔ト用レハムカレト云

在昔成湯受命時ト高頌ノ昔在中葉ト云ト同クニナリ

武庫山六  
同陰平編

トハナケレバ古昔ハコフ云一デアリシガ今トハキナフキヤフノヤウニアレバ今トハ大ニ異ナルナリト云心デアラ用ルナリ。古在昔ハ高書ニ自古在昔先民有作ト云ハ手厚ク之ヲ云心ナリ。古昔ノ間ニ在ノ字ヲ夾テ云ユヘナリ古トイ、昔トイヒ在トイヒ又先民ト云ユヘ手厚クナルナリ。先民古之人ヲイフしシカレバ自古トモ自昔トモ不云レテヨキニ古トイヒ昔トイヒ在トイヒ自トイヒ又先民ト云テアツク之ヲ戒ルノ意ナリ古

ハ故事故物トナリシユトナレドモ之ヲ故事故物トシイニシヘソフ云コトモ在タゲナトイフヤウナコトデハ今ノ手本トナラヌユヘウハスベリノセヌヤウニ丁寧ニ之ヲ戒ルノ辞シ古ヘキツトコレ在シコトナルガ之ヲ故事故物トセズ昨今ノ事ノ如ク念ヒ之師トセヌハ後民トラモ復可有作ナリ君爽ニ在昔成湯受命時ト云高頌ニ昔在中葉ト云モミ十同意ナリ是等ノ辞法ハ後ノ文ニハナキナレバヨクノミコミテ轉用セバ新奇

ノ字法ヲナスベキナリ

至 到 拾 臻 戾 屆 瑕 假  
極 底 之 故 距 渾 造 抵  
迄

至ハ四方之民襁負其子而至矣ト云我欲  
仁斯仁至矣ト云テ自然トイタルナリ○  
到ハ後ノ文字ニテ古經ハミナ至ノ字ヲ用  
ユ言至於漕 君子至止 至于岳陽 至于  
豊ナドミナ是ナリ 大雅ニ靡國不到

トイヘドモ至ノ誤リナルベシ ○格ハ感シイ  
タルナリ 有恥且格 七旬有苗格 物格  
而后知至ナドレカリ ○臻ハ秦至ラ會  
セン文字ナリ秦ハ西邊ナリ 邶風ニ造臻  
于衛ト云モ遠トスルニ不足ノ意ナリ  
小雅ニ如彼行邁 則靡所臻ト云モトコマテ  
イテモウチツカヌト云心ナリ ○大雅ノ飢  
饑薦臻モハシバシニテモト云美ナリ  
○戾ハイタリトクナリ 爲飛戾天 民  
之未戾トミナ是ナリ

○届ハユキトバクナリ 小雅ニ譬彼舟流  
 不知所届 君子如届 俾民心服 ナト云是  
 ナリ ○瑕ハ假ト音通シテ同シ假格  
 ナリ又古音アヒ通スルナルベシ 鄘ノ詩ノ  
 不瑕有言 トイフコレナリ  
 ○極ハイタリノキワテルナリ 誰因誰格ト  
 イヒ峻極于天ト云ミナシカリ  
 ○底ハソコマデイタルナリ 小雅ニ靡所底  
 止ト云コレナリ  
 ○之ハコキコムナリノ不知不識コニイタルノ

○踵ハ孟子ニ之膝踵門キビス之ニ  
 イタルナリ

美ナリ 之死矢靡他ト云コレナリ  
 ○放ハ孟子ニ放乎四海トハソコト大海ヘオ  
 ナコム  
 ○距ハ書ニ距四海ト云テフセキシリゾク美  
 ナリ  
 ○踵ハ之膝踵門ト云テヤフヤク膝マテ  
 エキコミシガ又段トキビスラハソコマデ城門  
 マデイタルナリ  
 ○造ハ始テイタルナリ 不能造朝ト云是ナ  
 リ







シブトシ於シコミスルト同必竟之ヲ新言ニ  
シ且迫体ノ詩ナトハ辭ノツマリシモノユヘ  
無何ナド、用ルシ

○奈何ハ古経ニハナシ奈ハ詔助ノ如キシ  
爲ニコミノ美アルニ於ラ冠シ越ニ於ラ加  
ルト同ジツイニ奈一字ライカント訓スルハ於  
一字ヲコミト譯スルガ如シ

○奚若ハ檀弓ニ而奚若ト云 奔物論ニ吾  
子以爲奚若ト云リ

○奚モ亦同篇ニ女以爲聽之奚ト云必竟

何モ奚モイヅレト訓スルユヘイカンノ譯ニ轉ス  
若ハ如ノ重音ナリ声ノ輕重字法聯  
事文氣ノ錯綜行兩ニ因テ種ニト轉シ  
用ニ如是若此如斯若茲人如之ニ拘  
スベカラズ

孰 孰与

○孰ハ 孰不可忍 孰愈 ナドハミツイレノ義  
ナドミナ是ナリ

○孰与ハ与ヲ入テ是ト彼トハイヅレカサレ  
トミクラベバ子及スコトバナリ

○孰ハイツレノ義トタレノ訓トニツアリ  
孰不可忍 孰愈 ナドハミツイレノ義  
ナリ

駁諫

○諫言スルモイサミハゲマズ一ナルニハ同訓ナ  
ルベシ

厭 斁 射

○厭ハイトロイヤガルシ 学而不厭 見君  
子然而厭然捨其不善ナド是ナリ

○斁ハスリサクイトフシ 服之無斁 耗  
斁下土ナド是ナリ

○射ハ斁ト同音ナレバ又クイロコヲ引  
ハラヒノケルノ意アリ

○頌ニ射ヲ思フ云是  
ナリ

祈 禱

○大雅ニ祈年孔夙トハ郊ノ祀ヲシテ豊年  
ヲイノリ求ルニ

○禱ハ禱ル于上下神祇ト云テ延壽ヲイ  
ノルナリ 獲罪於天无所禱ト云モヤリ同

意ナリ 獲罪於天ハ六極ヲウケテ夭折スル  
ニハナリ

怒 赫 忿 愠 嗔 恚 瞋 睚

此 罵 詈 叱 恚 愠

○奴心ヲ怒トス彼ヲ獨夫奴僕ノ如ク賤ミ

○赫ハ赫トヒカリノカクヤクナリ云々

イカルナリ 王赫斯怒トイフ是ナリ

○赫ハ赫トヒテ雷霆ノ如ク威怒スルシ小  
雅ニ及我來赫ト云コレナリ

○念ハ分心ノ會意ナリ今マデ合體同心ナレ  
一朝忽チツノ心分派スルナリ一朝之念忘其身ト  
イフ是ナリ

○慍ハ行念ノ義ナリ心中緼トシテ紆曲念怒  
スルナリツレエ子路慍見トイヘリ心中ノイカリ  
カ顔色ニアラハルコト云

○嗔ハイカリシカルナリ

○紆念ヲ慍ト云心中緼々トシテ氣色  
アシク思ナリ

○慍ハ行念ノ義ナリ心中緼トシテ紆曲念怒  
スルナリツレエ子路慍見トイヘリ心中ノイカリ  
カ顔色ニアラハルコト云

○恚ハ卦心ノ會意ニテ八卦ノ变化スル如  
ク乍チ心変ルナリ

○隣ハ隣目ノ會意ニテツノ目ハ之ヲ隣視スル  
如クナレモツノ心ハ之ヲ念ルシ

○睽モ譏目ノ會意ナリ

○叱モイカリシカルナリ

○嗚モ愠コノ會意ニテ愠リテ口語ニ登スル  
ナリ

○叱モツハキヲハキテイカル

○恠モ齊心ノ會意ニテソノ怒一心ニ齊均ニ  
ミテ聊モユルス所ナキシ 大雅ニ天之方恠ト云

是ナリ  
○愾ハ孟子ニ愾ニトシテ相譏スト云リ

○憤激ト連ス

○云ニト云ハハ排モ亦イキドホルテナリ  
非心ヲ排トス心ナラズ思フナリ

イキドナル  
○憤<sup>イキドナル</sup>排<sup>イキドナル</sup>激<sup>イキドナル</sup> 憤<sup>イキドナル</sup> 恠<sup>イキドナル</sup> 愾<sup>イキドナル</sup>  
ナニナ

○憤ハ貴心ヲ美ニテ心中ニ貴起スル

○排ハ心ヲラサレナリ 不憤不啓 不排不發ト云  
云是ナリ

○激モ憤激ニ怒ナド、ツキテ水ノ石ニ當ル如  
ク一當リマシツテドカクトスムシ

○憎ハ彼ノナス所我心ニ思所ニ符會ニテイ  
キドフルナリ

○怖ハ心ニカナハザルシ 怖於慮ト云是シ  
○岡ハ門戸デ鎖サレシ心地スルナリ 不見是元  
岡ト云是シ

○蕙ハソノイキドフリ心ニ滿洩スルホトナリ

○恟ハ童幼ノ争ヒイキドフル如クナル

○鬱ハ鬱陶予心ト云是ナリ

○噁ハ於噁トテロデー一云レヌナリ

○怵ハ心ニ屯聚スルシ

○惰ハ心之カタメニクラムナリ

寝寐癯

○寢ハ内寢ニテユルリト子ルシ 寧予昼寢  
ス云是ナリ

○寐ハ子ヨト子ルシ 假寐ハウタ子ナリ

○癯ハ熟睡ナルベシ

○寢ハ子ヨト子ルナリ 假寐ハカリ子ナリ  
寤寐ハ子タリサメタリナリ

○休息ハチヨトヤスムナリ天行健君子以強不息ト云  
 ○息停ヲ憩ト云休息ニテツイトイハレナリ召伯所憩ト云コレナリ

○嵩ハ巖ノ古字ナルベシ

休息 憩

○息ハ君子以強不息ナトマア今日ハヨイハ不休息ナリ

○憩ハ休息ニテツイニマ、ルシ召伯所憩ト云シナリ

生活

○生ハ死ノ反ナリ ○活ハ活動スルシ

巖 嵩 盤 磐 石

○巖ハ節彼南山維石巖ト云ヲ以ミレハソノ巖重險阻ナルヲ云ナリ

○嵩ハ大畏民嵩トイハバ赤白大小ソノイワ品ミナレト山ノ如ク一ニナルヲ云ナリ

○盤ハ十丈モアル平ナル一枚石ヲイフシ

○磐ハ盤石ヲ合セシ字ナレバ同シ大石ナレソ中ニ小石ノ立並ゴアルヲ云ナリ

○石ハ巖石ト連用スレバ大石トイハレ巖ニ比レハ小ナルヲ云故ニ維石巖ニト云リ小石

聚テ巖ニタレナリ

砂 沙

○至テ細小ニシテホデナク少ク石ニ似ルニハ砂

ト云

○沙ハ水砂ノ會意ナルベシ水邊ノスナラズ

言<sup>イフ</sup>曰云 謂道評

○言ハ寢不言ナトイフテ言<sup>ハナシ</sup>談スルナリ 又

老子ニ布言自然ト云ハ<sup>ハナシ</sup>論令スルナリ詩<sup>詩</sup>易  
論語<sup>論語</sup>学庸ニモ又<sup>ハナシ</sup>論令ラ云ナリ

○曰ハ公然トシテ之ヲ更メ表ヘカシ出テイフ  
し曰若<sup>若</sup>蒼<sup>蒼</sup>古<sup>古</sup>帝<sup>帝</sup>堯<sup>堯</sup>曰<sup>曰</sup>放<sup>放</sup>勳<sup>勳</sup> 曰<sup>曰</sup>思<sup>思</sup>无<sup>无</sup>杯<sup>杯</sup>ナド云  
是ナリ

○言談ハハナシスルナリ寢不言ト云コレシ又<sup>ハナシ</sup>論令  
スルヲ云 老子ニ布言自然トイヘリ

○曰ハシツカリトイフナリ云ハ輕シ<sup>ハナシ</sup>字曰云ニ

○云ハ之ヲ窺ヒイフナリ凡ソ論語ハミナ子曰ト  
イフニ<sup>イフ</sup>宰<sup>宰</sup>曰<sup>曰</sup>子<sup>子</sup>云<sup>云</sup>ハイフ<sup>イフ</sup>ヲ以<sup>以</sup>シルベシ<sup>シル</sup>学<sup>学</sup>庸<sup>庸</sup>ニ詩  
云ト<sup>云ト</sup>詩<sup>詩</sup>曰<sup>曰</sup>ト<sup>ト</sup>錯<sup>錯</sup>綜<sup>綜</sup>シテ<sup>シテ</sup>ソノ<sup>ソノ</sup>微<sup>微</sup>意<sup>意</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>示<sup>示</sup>ス<sup>ス</sup>ハ<sup>ハ</sup>之<sup>之</sup>  
ヲ<sup>ヲ</sup>述<sup>述</sup>ル<sup>ル</sup>ナリ

○謂ハ胃中ニ思フトコロヲ私ニイフハ 子  
謂<sup>謂</sup>詔 孔子謂<sup>謂</sup>季氏<sup>季氏</sup>八佾舞於庭<sup>八佾舞於庭</sup>ナド是  
ナリ 謂<sup>謂</sup>曰<sup>曰</sup>トイフ<sup>イフ</sup>ハ<sup>ハ</sup>ステ<sup>ステ</sup>ニ<sup>ニ</sup>之<sup>之</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>私<sup>私</sup>ニ<sup>ニ</sup>シ<sup>シ</sup>テ<sup>テ</sup>ツ<sup>ツ</sup>イ<sup>イ</sup>ニ<sup>ニ</sup>之<sup>之</sup>  
ヲ<sup>ヲ</sup>公<sup>公</sup>ニス<sup>ス</sup>ル<sup>ル</sup>シ

○道ハソノスゲミチヲ道説<sup>道説</sup>シテ我道<sup>我道</sup>トスルナリ  
夫子自道也ト云 大学ニ道学也ナト云

○道ハソノスゲミチヲ道説<sup>道説</sup>スルナリ<sup>道説</sup>大学ニ  
道学也ナトシテ<sup>道学也</sup>夫子自道也ト云ハ又之<sup>又之</sup>  
ヲ道トシテ<sup>ヲ道トシテ</sup>行<sup>行</sup>フ<sup>フ</sup>ヲ云ナリ



ミナ是ナリ

○辞ハ一部始終ライ、ソックスナリ

息

○息 氣息拂然ナド云是ナリ

今 見今 在今 即今

○今ハ昔ニ反對シ又時日ニ反對シテ今日

イラ又莊子ナドニ今夫 且今ナド云ハ後

ニ云見今ノイナリ

○見今ハ韓文ナドニマリ今現在スル所ヲ云

○在今ハ在昔ノウラシ 酒誥ニ在今後

嗣王酣身ト云是ナリ ○即今ハ近体詩

ニ多ク用ユヤハリ見今ノ意ナリ

傷痛 痒 慟 恫 恻 愴 慨

怵 惕 惻 隱 惘 悵 愴 怛

慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄

○傷ハ詩ニ傷心憂傷ニ悲ナド、連用ス

○痛ハ痛心ト心ヲイタマシムルナリ 醫書ニ身

体疼痛ト云ハタルクイタムシ ○痒ハカユク

○傷ハ悲毀傷トツリ

慄 慄

イタムシ

○慟ハ身ヲモミイタミ悲ムナリ父母ノ喪  
ヲキトス子哭之慟スルハ道ノ不行ユヘシ

○惘ハ大雅ニ哀惘中國ト云テ世ノ衰ミヲ  
イタムナリ 神罔時惘トモ云リ心ヲ合同シ  
テイタムシ

○懐ハ曹風ニ情我寤嘆ト云心氣ヲイタメ  
不寢ナリ

○懐ハ慷慨又ハ嘆慨トモ連用スル  
○休モ孟子ニ休惕惻隱ト連用スルニナ

イタムト釋スルナルベシ然レ字美ハ各異ナリ  
ナリ

○感ハ哀感ナド、ツ、ク字各ニ感ノ字ア  
ルコノ誤リナルベシ

○盡ハ周魯ニ民靡不盡傷ト云傷ヲ主  
トシテ盡ハ欠ニケルニ窮極ノ義ナレハ之ヲ  
イタムト訓スルハ妄ナリ

○惘モ惘惘ト連用スル字ナリ 霸國惘矣  
已哉ト詩ニ用シモアリ

○愴モ大雅ニ愴愴填兮ト連用シ又職愴

イ

斯引トモ云リ此等ノ字ノ譯各異ナルキ  
 ハツナレ且和訓ハ少ク漢字ハ多キニヘミナ同  
 訓トスルナルベシ 愴ハソノ一ラ聞ソノニハ未  
 聞也倉卒ニハライタムルツ美ナルベシ 愴ハ  
 弟ヲ惻ムモノナルユヘソノ加ク氣ノ毒ニ思フカ  
 ベシ然ハ大雅ニ倉兄ニ作シモ古美ナルベシ  
 由是見之ハ愴弟ト云モ 愴弟 愴弟ノ心カ  
 ベシ故ニ詩ニハ宜弟トスレ且諸子ニハ愴弟  
 若クハ 凱弟ニ作ルナリ  
 ○ 悽モ 悽愴ト連用シテソノ美ヲナスナリ

○ 慘モ 慘ト連用ス心中ニ參差タルシ  
 ○ 忡ハ 憂心忡ニ 憂心有忡ト必ス憂心  
 ニフヘテ云心中ニユタヘルシ  
 ○ 愴モ 憂心愴ト綴属スルナリ  
 ○ 愴 愴 愴  
 ○ 出入ハ 出 納 容内  
 ○ 出入ハ イヅルトイルトナリ ○ 出納ハ スイ  
 ダストイレルトシ ○ 容ハ 寛容トテユルリ  
 大腹中ニイレルシ ○ 内

軍師戎

○軍ハ古ハ車戰セシニハ中車ヲ會セシ字ニ  
中ヲ掩フハ矢石ヲ防グナリ軍旅ト連子師  
旅トヾク旅行スルニハ旅ト云部伍卒隊ヲ  
ツミテ一旅トナシ旅ヲツミテ一軍トモ一師ト  
モ云ナリ

○師ハ一帥ノ會意ナリ六軍トイハレ一元  
帥ノ指麾ヲ師トス學士ノ一師ヲ師トスル  
カ如シ 大雅ニ維師尚父時維鷹揚ト云  
是ナリ尚父一人ハタラクヤフニモユルナリ

○忌ハ之ヲイハバカルシ中庸ニ云ク  
事ニツイテ之ヲ云

○我ハ于戈ヲ合セシ字ナリ故ニ勅于戈於  
邦内ト云又戈ナラ我トス付但ノ于戈ヲト  
ルヲ云ナリソノ前列トスルヲ云ナリ我高必克  
ト云モ一戰ニ不及于戈ニ臨バ必克ト云フシ  
此等ノ事ハ泰誓及費誓ヲラミテシルベシ  
甲冑ノヲラ我衣ト云モ敵ノ于戈ヲフセグ  
ヲ云シ  
イム  
忌諱  
○忌ハ以事コレヲ云中庸ニ小人无忌憚  
ト云是ナリ

○大雅ニ戒戎作ト云リ戎ノ中ニ一ヲ加ルガ  
之ヲフセギイマシムル象ナリ

○人敬ヲ倣トス人カララ敬戒スルコ

○諱ハ言ヲ以テラ云諱名不諱姓ト云是  
ナリ老子ニ天下多忌諱ト云ハ事ト云  
ヲ併セ云ナリ

坐宅

○坐ハ老子ニ不知坐進ト云 ○宅ハ顧命  
ニ宅授宗人同姓ト云リ

戒倣警械

○戒ハ戈ノ會意ニテ什伍ヲマシテフセ  
ナリ大雅ニ戒戎作ト云リ

○倣ハ人カララ敬戒スルナリ人カス躬行

○敬言ヲ敬言トスルノ言ヲ敬省スルコ

○警ハ言語ヲ敬ムナリ

○械ハ武テフセグテナク人カラ言行テ之ヲ  
フセグナリ勅容貌斯遠暴慢ト云 儼然  
人望而畏之ト云ミナ是ナリ

犬 彡 狗 獒 盧 狻 豸

獒 歌 驕 犴 犴 犴

○彡ハムクイヌナリ 召南ニ无使攷也吠ト云

○狗ハ子犬ナリ 孟子ニ狗ユト云 老子ニ

狗吠ト云

○獒ハ大犬ナリ 周魯ニ西旅貢厥敷矢ト云

○春經ニ旅國ヨリ貢スル大犬ナリ

猪猪端猪

○盧ハ田獵ニ用ヒ大ナリ齊風ニ盧令ト云韓文ニ韓宣王云字局ニ獵ニ作ル非ニ

○狡ハ俊馬ト同シ

○豨ハ

○豨ハ秦風ニ載豨豨ト云亦田大ナリ

豨豨ハソノ俊ヲ云ナリ字局ニ豨ニ作テ

別種トスルハ豨

猪 豨 豚 豕 豨 豨 豨 豨

○猪豨ノ類ニト山ニスム豨豨ト云ソノ豨ニ

由テ故ニ呂南ニ壹奈五豨ト云邠

猪 漢

詩ニ豨豨于公ト云リ但豚ハ雞豚狗ト云ト云ヒテ家ニ畜モノ

池 沼

○池ハ池沢ト云キテ大ナリ ○沼ハ王立

於沼上下云ハ後苑ニアル泉水ノ如クニシテ

池ニ方レバ小ナルベシ

誘 倡

○誘ハ循ニ然善誘人ナト云テイザナヒニ

イビクナリ ○倡ハ鄭風ニ倡予和女ナト云

テイザナヒトナヘルナリ

菴

菴 蓋

○菴モ菴モ同シ蓋モ似ヨリシモノナルベシ  
然レ小雅ニ中田有蓋ト云ハ曾孫人君ノ  
憩フ所ナレバヨホド廣カルベシ公宮ニ比スレ  
ハ小ナルニ蓋ト云ナラン蓋シ民邑ノ序ナ  
ラン故ニ邠風ニ濟被公堂ト云リ巡教召  
伯ノ攸憩モ亦是ナラン

間 惶

暇 隙 惶

○間暇 間隙ト云キソノヒマヲ云○惶ハ  
ヒマヲイレ延引スルナリ皇トト奔走シテ寸

桴 槎

暇ナキト云ハ周魯ニハ皇ノ字ノミヲ用ルモ味ア  
リ召南ニ莫敢或惶ト云是ナリ

家 室 宅

○外ニ家ト云夫トノ居トコロナリ内ニ室  
ト云婦人ノ居トコロナリ宅ハ之スヘ云ナリ  
小雅ニ其究安宅ト云是ナリ室モイヘト  
訓ズ文室康亦乃ト是ナリ

知 釋 冲

○知釋ト云キ又成王自ラ知冲人ト稱ス

妹 姨

呂

波

春晴霽張腫朶

○春ハ夏正ヲ正シトス堯典ニ云トコロ是  
故孔子ニ行夏之時トノ玉ヘリ殷ハ建丑  
周ハ建子ニスル辰ニ土地ヒラケ曆數邊鄙  
ハ達シ難キニナリ但ソ記祿春禘秋ナドニ  
ノミフノ代ノ時ヲ以シテ農事祭祀ナドハ

○腫ハ浮腫ナドツギキカウダノハレ  
ナリ小雅ニ云

○晴ハハレツバキクモリナキナリ清日ノ會意  
ニ大雅ニ會朝清明トイヘリ  
○霽ハ雲雨共ニ奔ヒ収リハレルヲ云  
○張ハモトヲラハルナリ故ニ儀礼ニ張侯ト云  
ソレヨリヒワク假用ニ周書ニ張皇ト云ハハリキ  
ルヲ云ナリ

○腫ハ小雅ニ既微且尪ト云ハ相通シテ足ノ

呂



ハレシラ云ナリ ○朶ハ枝ノ横ヘハリシエハ  
易ニ假テ朶朶ト云リ

華ハ花ハ 冕ハ 端ハ

○古ハ只華ノ字ノミ用ユ花ハ後ニ作リシ字ニ

○冕ノサキノ一ヲ莊子ニ冕端ト云佳字ニシ

○端ヲハナト訓スルモヤリハシノ一ナリ側隱

之心仁之端也 君子之道造端乎夫婦

ナトコレナリ

橋ハ 梁ハ 箸ハ 階ハ 挾ハ

○橋ハ喬木ノ會意ナレバタカク大ナルベシラ

云然ト危橋ト云ハアヤフキ小橋ナリ又圮橋

石橋ナドモアリ ○梁ハ山梁雌雉ナド云ハ

潤溪ニ架セシ細キ丸木ハヒナドヲ云ナルベシ

○箸ハ曲礼ニ用箸ノ不用箸トクワシクアリ

竹ノサジナルベシ

○挾ハ夾木ノ會意ナレバ木ノハシニテ夾ムモノ

ナリ 曲礼ニ羹之有菜者用挾ト云ヘリ

○階ハ堂ノ南ノ東ニアルヲ階ト云西ヲ賓

階ト云北ヲ側階ト云及側ノ美ナリ

○云ニハ字ヲ美ハハナヤカナルトニナル  
○白鼻ハ孟子ニ白鼻之於鼻 掩鼻而  
過之ト云

初昉始肇創造倣朔  
首落

○初ハ刀衣ノ會意ニテ衣服ヲタチ合スシ  
ヲタチ合スナリハシメテラツキテコナハハハ終  
マデ合ヌヤフニナルソレト同ジユヘ初春初  
日ト云ニテ始春始日トハイワヌシ

○昉ハ方日トカキテ日ノ東方ニ出ルナリ

△身之レニ任シテアリ

○初ハ刀衣ノ會意ニテ衣服ヲタチ合スシ  
始之ヲ失レハ終マデ之ヲ不得之凡事六  
之ニ同キユヘ初春初日ト云テ始春始吉ト  
不云 日一作吉 ○昉ハ日出テ四方ヘ暉キ照  
スナリ ○始ハ女治ノ會意ナリ 邛風ニ綠  
兮絲兮女所治兮ト云コレシ又女台ヲ始  
トス女子ノ女功ニ於ル台ト云邪ナルベキヲ云  
ナリ 初終ト對シ又始終ト對ス初ステニ衣

ニ從フ衣服織紡ノ事ハ婦女ノ治ル所ナルニ  
始ハ女ニ從ヒ終モ絲ニ從フ天下國家ヲ經  
綸シテ庶績咸ク熙ルモ亦如是ナリ  
○肇ハ始ナリ 啟聿ヲ肇トス 啟發シテ之  
ヲ遂ルナリ 肇十有二州ト云肇我邦ヲ  
有夏ト云以<sup>雅</sup>歸 肇祀ト云ナドヲミテシ  
ルベシ ○創ハ創業坐<sup>シ</sup>ハ革命ノイナル  
ニヘコリルに訓ス予創若時ト云コレシ  
○造ハツクリハジムルナリ 造化造物ナトイヒ  
造端乎夫婦ト云ナドニカリ

○倣ハ始ナリ祝淑ヲ倣ト云祝戒淑慎ニテ始ルシ倣載南畝ト云レナリ又淑人ヲ倣トス頌ニ侯王侯伯ト云ハ主人冢子ヲ云侯亞侯旅ト云母弟庶子諸嬖孽子ナド及ヒソ僕夫ナトミナ冢伯ノ命ニ從ヒ倣人ニシテソノ載ニ服スルヲ云ナリ ○朔ニ亦始ナリ逆月ヲ朔トス月朔ハ月ノ始ニテ初月ヲ逆ルノ義ナリ告朔ノ礼ハ去月ノ政績ヲ告今月ノ政事ヲ請告スルニ礼運ニ皆從其朔ト云リ ○落モ亦始ト訓ス木葉

ノ始ヲ落ル如ク之ニツキテバラクト落ルラ云聖註ノ分レ難キモツヒニ落着スルヤフニナルモ之ト同ジ頌ニ訪予落ト云易ニ舍言ナ有預自天ト云ミナコレナリ

謀 猷 謨 計 策 詢 忖 度  
量 揔 籌 測 算

○謀ヲ果言ヲ合セシナリ是ハ果シテ言トソレ別テ以之ヲ一定スルシ謀猷ハ謀ヲ合テ猷トスルナリ猷謀ハ猷ヲ徑トヒテ謀ヲナスナリ

○謀ハ某言ノ會意ニテ謀人某ノ言ヲ合テクミ立ハカレト謀ヲ合セテ猷トスレバ謀猷ト云猷ヲ徑トヒテ謀ヲナスヲ猷ト云

○猷ハ道ナリ 幽風ニ四國是道ト云是ナリ  
 四國ハ融通スルハカリトテ即チ所謂大猷ナリ  
 大猷ハ堯舜ノ典 漢ヲ祖述シテ夏テハ禹ノ典  
 言セ高テハ又之ニ湯誓仲虺之誥湯誥ヲ合  
 周テハ泰誓牧誓武成洪範ヲ合セシラズ  
 ナリ是ハ創業ノ君ノ道ナリトテ後嗣ノ王ニ  
 テモ天下後世ハ融通スヘキ道ナリ又之ヲ猷  
 ト云 斯謀斯猷ト云コト 小旻ノ詩ニ謀  
 猶回過ト云大猷ト云 猶ニ作ルハミナ之  
 ヲ猶疑スルヲ微示スル

○猷ハ四國是猷ト大猷ノ融通スルヲ云大  
 猷ハ堯舜ノ典 漢ヲ本トシテ夏ハ之ニ禹  
 貢ヲ加ヘ高ハ湯誓仲虺之誥湯誥ヲ加ヘ周  
 ハ泰誓牧誓武成洪範ヲ合スラズ 小旻  
 ニ謀猶回過ト云ハ大猷ヲ猶疑スルヲ示ス  
 ○漢ハ莫言トカキテ謀言ヲ一定スルヲ大  
 臣ヲ主トス大猷漢皋陶諫コレナリ又ラ君ニ  
 納テ天下萬世ニ施スラ典ト云堯舜ノ典  
 コレハ是猶訓ノ如キテ愚夫婦モウリ行フ  
 二ハ聖有諫訓ト云ナリ

△ 策ハフダヲ以テカヅヘハカルシ策一  
 計一ナド云コレシ

○村ハ寸心ヲ村トス寸分毫髪至ニ差  
 ヤフニ心中ニハカリミナリ故ニゆズ度ノ  
 字ニ合セ用ス度ハ丈尺ナリ 他人有  
 心予村度又之ト云コレナリ

△

○計ハ會計トテツモリ勘定スルナリ 孫子  
 ノ始計コレシ 老子ニ善計不驚策ト云ハ  
 常ニ之ヲ計スルニヘシ

○詢ハ普問トテ詢言ノ會ニ 詢于芻蕘  
 ト云コレナリ

○村ハ寸心ノ合ミテ寸分違ヤフニ心中デハカ  
 ルナリ故ニ度ノ字ト運用ス

○度ハ丈尺ナリ 他人有心予村度之ト云  
 コレナリ 丈尺ヲトノ音トシハカルト云ハタクノ音  
 トスルハ沈約ニ始ルハカルモヤハリ丈尺ヲ以テム

如ニスレバスラ分ツベカラズ

○量ハマスデハカルシ

○權ハハカリテカケ合スナリ

○籌ハクダテカザヘルナリ

○測ハ水ノ深サヲハカルテハ測度ト連用ス

○算ハ算木算盤デ勘定スルナリ

旗 旗 旂 旃 旒 旆

將 團 果 機

○旗ハ折羽トテ鳥ノ羽ヲ折チシモヨフハ

○旗ハ熊ト虎トノ章ナリ

○旂ハ鳥隼ノ章ナリ

○旃ハ龜ト蛇トナリ

○旒ハ牛尾ノカガリアリ ○旆ハ交竜ナリ

○旒ハ通帛ナリ

○將ハ又ヤ旦ヤノ意ナリ ○團ハハタケシ

○果ハハタシオ、セルシ 果毅 果速ノ義アリ

○機ハオリバタシ 機中 織錦 秦川 女ト云

ミナリ

篋 篋箱 篋笥 函

○篋ハ方ナリ篋ハ圓ナリミナ竹ノハコシ

○箱ハ車上ノハコナリ 小雅ニ既彼牽牛不

以服箱ト云テノセ物ヲイレルシ

○篋ハ進献モクコナリ高貢ニナリ

○笥ハタニス挾箱ノ類ナリ高書ニ惟衣

裳在笥司ト云リ ○函

柱 楹

○柱ハヒロクエラ云 ○楹ハ堂ノ東西ノ西楹

ト云ラ云

掃除ノ儀

拂 掃 滌 襄 攘

○拂ハラコケルナリ 拂ノ意アリ 大學ニ拂

人ノ性ト云 大雅ニ四方以无拂ト云リ

○掃ハ掃除スルシ 洒掃トツク 鄘風ニ牆

有茨不可掃ト云リ ○滌ハ 鄘風ニ十月

滌場ト云ヤリ 洒掃ノ義ナリ ○襄ハ攘ト

同シ 鄘風ニ不可襄ト云 小雅ニ攘其左右

ト云ミナハラヒヨリノ分ルナリ

葉 蒞

○葉ハ 高頌ニ中葉トテ世ノ中タルミセト云

木ノ葉ノ凋シ如キナリ又セツ音デハ邑ノ名ナリ葉公子高ナド是ナリ

○齒ハ年齢ニ從テ生タリ落タリスルエヘ木葉ニタトヘ又ヨハヒト訓ス

恥辱 慚 慙 羞 忸怩

○恥ハ廉恥トツギ人ニ對シテ面目ナキシ

○辱ハ人ヨリ況ラヌラル如キニアフシ毫

辱ト反對ス子游曰事君數斯辱矣ト云コレナリ

作 論語子問其言之不怍馬融云作慙也

△子曰邦無道穀恥也トアリ

△有子曰恭近於礼遠恥辱コレソノ心得ナリ

○慚ハ心中ニハッルシ慚惡之心ト云コレシ愧モ同意同意ナリ心醜ノ會ナリ心醜惡スルナリ說命ニ其心愧恥若撻干中ト云ナリ

○慙ハ慚ト同シム子ヲタチキルヤフニ思ナリ高居ニ惟有慙徳ト云リ ○羞ハ恒ノ卦ニ不恒其徳或承之羞ト云羞ハ庶羞トテ汲物ナリ可慚コトヲ不知シテウカクイタヒ

テ一掃スルヲ云エハ慚ニ不作佳字ノ類ナリ ○忸怩ハ夏書ニ顔厚有忸怩ト云ハツカシ

○慙ハ慚ト同シ心中ニタチキルヤフニ思フニ高居ニ惟有慙徳ト云慙心ノ會ナリナリ

△汲ハ汲ニアラスヤ

△ウキアケノ原

ク思エハ面ニアラハレ赤クナルナリ

腹 肚 原

○腹ハ小雅ニ出入腹我ト云ツノ子ヲ懐ニス  
ルナリノ高昏ノ敷心腹腎腸ハハラワタラホス  
ナリ老子ノ實其腹ハソノ徳ヲ充實スルニ  
○肚ハ鑿昏ニマリ後世五行配當ノ説起リ  
シヨリ作ル字ナリ ○原ハ高平ノ地ナリ隰  
ニ反ス又源ト同シ 原泉滾ニハ水上ヲ云  
左右逢其原ハ潮ルニ云ヘ繫辭ニ原始ト云  
ハタツ子ルヲ云

甚 大甚 已 已甚 孔 恭 太

○鄭風ニ其人甚遠ト詩書中只此ニノミ  
用ユ ○大甚ハ大ヲ加テテスク甚キシ  
○已ハ甚ヨリ輕シ元已大康ナドコレナリ  
已甚ハ甚ト大甚トノ間ナルベシ  
○孔ハ慮大ナリ詩昏ニタツシ ○恭ハ太  
同シ小雅ニ昊天泰憮ト云 其毒大苦ト云  
早 夙 蚤  
○三字ミナ早朝ノト云ヘハヤクト訓ス



ハシル  
ハスル  
ハセル  
ハス

奔走 馳騁 驟

○奔ハ木ノ際モ不厭ハシルナリ ○走ハカ  
チデハシルシ 馳以下ハ車馬デハシルナリ

胤征ニ畜夫馳魚人走ト云リ

鍼錐 刺針 箴

○鍼石トツキ疾ヲ療スルハリナリ ○針ハ

同音ニテスヒハリシ ○錐モ同シ又キリラ云

○刺ハ荆棘ナドノハリナリ 列子ニ棘刺之

端ト云 ○箴ハ竹ノハリシ 盤庚ニ元或

伏小人久攸箴ト云月令ニ切箴請補綴

是鐵ノハリナルベシ

ハルカ

トハヌヒハリナルベシ

遙逝 遡遠 懸曼

○遙逝 遡遠ハ道ノハルカニ遠キ

ナリ ○懸ハ天地懸隔ナドハル  
カニヘダツシ 曼又モ同シ

○曼別ナドハ大<sup>チ</sup>ガヒラ云

運轉 湊

○運ハ徒テハコブシ ○轉ハ車デコブシ

○湊ハ船デコブシ 輻輳ハ四方ヨリモチ

コムシ

ハコブ

放 發 釋 舍

○放逐ハ追放スルナリ 放豚放心放蕩  
ナドハ自ラ放ツイエハ放縱トツヅク ○發ハ  
決ラハナツナリ ○釋モ舍モ同シ 盤庚  
ニ若實攸張往省括于度則釋ト云  
小雅ニ舍拔則獲ト云

食 食 喫

○食言ハウツラツクシ ○食飯 喫飯トツヅク

仁

似 肖

○射有似予君子トハ君子ノ人ガラニ似ル  
○肖ハ肉ニ從ヒツノ骨肉ノニタルシ 說命ニ  
說築傳巖之野惟肖トハソノ繪姿ニ似  
ナリ自称シテ不肖ト云ハソノ先祖父母ニ不  
似ト已ラ謙シテ父母先祖ヲ成ナリ

偽 擬 贗

○老子ニ智慧出有大偽トハ仁人君子ニニセ  
ルナリ ○擬ハナゾラスニセナリ 擬古ノ

△北宮黜似子夏ト云モ同ジ

○偽ハイツワリニセルシ老子ニ云

詩ナド是ナリ ○廢物ハ藥種金銀屑

画ナドノニセモノ

烹飪道

○烹ハ亨火ノ會意ニテ火ヲ亨ラスナリ

○飪ハワノニカゲン可食ニ任ルシ 失飪

不食ト云コレシ ○是ハ是獲トハ水ダキ

ナリ

濁混清汨

○濁ハ清ノ反ナリ ○混乱ハカキミダシ

ニブルシ ○混濁ハ乱モ同シ ○洪範ニ

○混ハ混乱トテカキミダシ混雜スルシ

ニブル

汨陳具丘行ト云モ楚辭ニ汨羅ト云モ羅  
故ノ如クウツマキニブルナリ

連逃遁風投

○浦走ヲ連トス海濱浦洲ヘニゲカクルシ

牧擗ニ四方文多罪連逃ト云リ ○北走

ヲ逃トス凶兆ヲミテ走ルシ ○風逸ハ費

擗ニ馬牛具風ト云 左氏ニ風馬牛不及

ト云 ○投モニゲルシ 小雅ニ相彼投免

ト云 文選ニ窮猿投林ト云

△投免ハニゲルウサギシ

△又他ヘニゲルナリ四方多罪連逃  
臣喜之連逃ナドニナリ是ナリ

○風ハ費擗ニ馬牛其風ト云 左  
氏傳ニ風馬牛不及ト云ニナリ風逸ス

ルナリ

蜺 蝮 蝮 虹

○蝮寬ヲ蝮トス日ヲ蝮シテ云蝮ノ如ナルナリ猶蝮蝮食ヲ蝮トスルガ如シ

○蝮蝮ヲ蝮トス日ヲ蝮シテ蝮屬スル

蝮東ヲ煉トス西日ヲ蝮シテ東ニアラル

蝮 蝮風ニ蝮蝮在東ト云東ハ物ヲ生ス

ル方ナルユヘ男女夫婦ノ道ニ比スルユヘソ

淫奔ニ比スルナリ ○蝮蝮エヲ蝮トスルユヘ

ミダルト訓ス大雅ニ實虹小子ト云リ

鈍 愚 魯

○鈍ハ利ノ反ナリキレヌシ ○愚鈍モ魯鈍

モ同シ柴也愚魯也魯ト云リ

愚 疾 醜 憎 聖

○愚ハ好ノ反ナリ苟志於仁无愚ト云ハ邪

愚ハナキヤフニナルユヘ人ヨリニクマルトモナキ

ヤフニナルト西美ヲ含ムユ一音ニ拘ルソノ意

狭シ故ニ音美侍屈ハ古経ニ於ハ不當

○疾ハ疾ト云又疾病ト連ルユヘ不病

人之不已知ト云 疾没世而名不称焉ト

云 ○醜愚醜厉モニクミウルサク思ナリ

ニクム

○愚ハオノ音ニナリ好ノ反ナレト云

○疾ハ疾ト云ト云キニクムトナレト云

疾ト云ト云キヤムト云ハ君子疾無

能ト云ト云ハ連接ニテ微示スルシ

△増々甚レシキ如増益スルナリ

○聖ハ虞夏ニ聯即聖讒説殄行  
震驚馬駭師トアリ即土ヲ聖トス之  
ヲ思ミ之ヲ黜テ以テ之ヲ邊土ニ  
即シム言ハ棄テテエノ如ク流放ス  
ベキヲ云ナリ

○何ハ古ハ何ノ字ヲ用ユ下大

○憎ハ心憎テ之ヲニクミツヒニ増々甚レキ

ナリ 躡沓背憎ト云 憎其式廓ト云  
ニ十是ナリ ○即土ヲ聖トスニクミテ邊土  
ニツカシメ棄テテエノ如スルナリ

何 荷 擔任

○可人ヲ何トスソノ人ノ力量相應ニニナワ  
スヲ云 何世衰何世盛 何交与戈ナト是レ  
論語ニハ何世衰何世盛ナト云 卅器ヲニ  
ナフエヘナリ ○擔ハ負擔トツキセオ  
クニ ○仕モソノ力量ニテカスナリノ大

○握ノ字同訓ナシ

雅ニ是任是負ト云リ

握 贍

○小雅ニ握粟出トスト云 掌握天下ナト  
云

保

美

○譽ハ毀ノ反 美ハ刺ルノ反ナリ

○亡ハ有<sup>レ</sup>反ナリ今マテ有<sup>レ</sup>チタシ  
モノガサツハリナキヤフニナル

亡 滅 喪

○亡ハ存ノ反ナリ ○滅ハ水中へ淪没  
ヒシ如クナル ○喪ハ死喪ノ如クイツト  
ナクジリクホコブルナリ

戈<sup>ホコ</sup> 矛 戟 劉 戮 瞿 銳

○干戈トツキ先備ヘナリ又モ類ナリ

矛戟ハツノ次ナルベシ此外劉戮瞿銳ナド

モ類ナリ

邊<sup>ホトリ</sup> 澗 上 澗 涘

○邊ハ山川ニ不拘邊鄙ラ云 ○澗ハ水

○怒ハ暴<sup>レ</sup>恣<sup>レ</sup>恠<sup>レ</sup>睢<sup>レ</sup>ナド、用テ我マ、ナル  
ヘレ<sup>レ</sup> 肆<sup>レ</sup>モ同<sup>レ</sup>ニテ淫<sup>レ</sup>醜<sup>レ</sup>肆<sup>レ</sup>虐<sup>レ</sup>ナ

ト我マ、ナルナリ<sup>レ</sup> 生<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>坐<sup>レ</sup>云<sup>レ</sup>ニ下同  
○縱ハ放<sup>レ</sup>縱<sup>レ</sup>トテ我意ヲ立トオス

○縱敗<sup>レ</sup>礼<sup>レ</sup>ト云コレナリ 縱横ハ猶<sup>レ</sup>経  
緯ノ如シ縱<sup>レ</sup>カスギテモ横<sup>レ</sup>カスギテ

モ帛<sup>レ</sup>ハ織<sup>レ</sup>タテラレヌト同ジ横<sup>レ</sup>ノス  
キタルヲ横<sup>レ</sup>逆<sup>レ</sup>横<sup>レ</sup>行<sup>レ</sup>ナド云モ同シ

ノキワナリ水ヲ省バモト訓ス○上ハ川上<sup>レ</sup>ニ  
○涓ハ水面<sup>レ</sup>ニ○涘ハ水末ナリ秦風ニ  
始ハ在水一方ト云次ハ在水之涓ト云終ハ  
在水之涘ト云コレナリ

恣<sup>ホトリ</sup> 肆 救 縱 放

○暴<sup>レ</sup>戾<sup>レ</sup>恣<sup>レ</sup>恠<sup>レ</sup>睢<sup>レ</sup>ハ我マ、ナルナリ ○淫<sup>レ</sup>醜<sup>レ</sup>肆<sup>レ</sup>虐<sup>レ</sup>

モ同シ 背<sup>レ</sup>災<sup>レ</sup>肆<sup>レ</sup>救<sup>レ</sup>ハ世間ニロクサシユル

ス、○放<sup>レ</sup>縱<sup>レ</sup>ハ我意ヲ立ルナリ 縱敗

礼<sup>レ</sup>ト云リ 縱横ハ経緯ノ如シ縱<sup>レ</sup>カスギテ

モ横<sup>レ</sup>カスギテモ織<sup>レ</sup>立<sup>レ</sup>ラレズ横<sup>レ</sup>逆<sup>レ</sup>横<sup>レ</sup>行<sup>レ</sup>ハ

横ノスギタルナリ ○放ハ放ユ湯ナリ

<sup>ホトシド</sup> 幾 殆 沆

○幾ハホドナカシト云フし 易ニ顔氏季其殆庶幾乎ハ之ヲ詳ニスルし 詔ニ回也其庶乎ハ之ヲ略スルナリ 字法詳略不知ヘカラス

○殆ハアヤウシトモヨム字ニテソコマデトニカヌシ

○殆ハ危殆トツキソコマデトニカヌナリ

○沆ハツノキワマデトニクシ 沆ニ未編井ト云リ

○矜ハ顔色ニアラハスし ○伐ハ人ヲウチヨボツテ已ラアラフワサニトスルナリ

<sup>ホトシド</sup> 矜 伐 夸

○矜ハ今戈矛ヲ交ルカト真<sup>知</sup>鈕ニナリホコルナリ 顔色ニアラハルヲ云 禹謨ニ汝惟不矜トハ汝惟不伐ニ對スルニホコルし 泰誓ニ天矜于民ハ民之所欲天必從之トウケルニ哀矜ノ義トナル 同字変轉不可不察 ○伐ハ木ノ投葉ヲウチハコフ如ク人ノチラサキオリシテ已ノ切ラアラハスナリ ○驕淫矜夸ハ高ブリホコリ自滿スルニ

ホ

○吠ハ犬ノホルシノ娘ハ虎ノ  
ホヘルナリ。召南ニ無使志也吐  
大雅ニ闕如虢虎

○窟モ巖窟ノ類ナルベシノ洞ハ  
水ニ從ヘハ洞溪ノ上リニアルヘシ

吠ホル 虢

○犬口トカキ怪キニホルモノニ無使大吠  
ト云 ○九ツノ虎ノホルハオソクシク猛ナ  
ルニ大雅 闕如虢虎ト云リ

窟ホラ 高洞

○穴屈トカキ巖穴ニ屈蟄スルナリ○窟  
モ巖窟ノ類ニテ過ラルルシ ○洞ハ水  
筒ノ會ニテ洞溪ノ上ニアル竹筒ノ如キ深  
キホラナリ

杜鵑キマダ 子規 郭公

彫刻 穿窞 鑿 掘 欲

○彫刻ハホリユムシ朽木不可彫ト云  
夏春ニ峻宇彫牆ト云 ○穿窞ハホリ  
ウガツシ穿窞之盜ト云 ○鑿金モホリ  
ウガツナリ ○易ニ掘地為臼トカラ曰ラ  
ホルラ云

程 帆 颿

○行程里程ハ道ノリニ來往預期ニ程  
ハ日程ナリ ○汎中ヲ帆トス汎トシテ  
中ヲアゲ行シ ○颿風ト云ハ順風ニ帆ヲ

此訓ワカラズ



揚馳ルナリ

杜<sup>ホトキス</sup>鶴 子規 郭公 螢<sup>ホタル</sup>

ホカ

外表

○外ハ内反表ハ裏ノ反禁内トモ云  
禁裏トモ云テ畿内ト云モ畿裏ト云  
海外トモ云海表トモ云トモ四表ト云テ四外ト

不云以是外ト表トノ別ヲ示ルベシ

炎<sup>ホトシ</sup> 熱 蟲 翁

○大雅ニ赫ニ炎ト云又蘊隆云々ト云  
壑谷ニ翁ニ炎熱ト云

ホ

邊 經 歷

○経ハ一歴ト過ト連ス○歴ハ遊歴ト連ス

○経歴經過ハ徑ニ不由タテノスゲラ段ニユクシ○歴ハ里程ト日程トラカクヘテユクナリ

阻 間 隔

○險阻ハ山川丘陵ナドノケフニキニ阻テラルナリ阻兩ト云モ泥塗土嶽險ナルニヘ  
○間ハソノスキマヲヘダツルナリ島谷无間然人不知其父母昆弟之言ナドニカリ

○懸隔ハ天ト地トナリ遥隔ハ秦ト越ト

如キナリトテ 遜 翼 讓

○曲礼ニ遜節退讓ト云孫ノ祖父ニ奔走スル如クスルニ孫以出父危行言孫ナド云是通音訓ナリ○翼モ通音ニテ堯典ニ翼朕位ト云易ニ六教ニ用ルナリ

○揖讓辭讓モヘリクダレナリ

○減ハ加ノ反 損ハ益ノ反ナリ

○如キナリトテ 遜 翼 讓

○應ハ之ニ應スル所  
○宜ハ之ニヨロシト云コト  
○少ヨク之ニアタル所容ハ之ヲイル

消 鑿

○消ハ水マ雪ノヘルナリ小雅ニ雨雪濼々  
見覲曰消スト云リ○鑿ハ金ノヘリ減ス  
ルナリ

可 應 須 容 宜 當

○可ハ不可ノ反ニテソレクニ可ナリト云  
○應ハ相應スルナリ近体ノ詩ニハ應須ト  
ニ字用ユ ○須ハマツトモ訓スルユへ先スベ  
カラクトヨミテ後ベシト反ス ○容ハイル  
ト云ヨリ轉シ用ルナリ ○宜モ亦ヨロシ

登

歲 載 祀 年 敏 疾 銳 利

○歲星ノ建ス所ニ從フナリ ○載ハ車ニ

クトヨミテアノステラアゲベシトハ子モトスイヨ  
ク久ニヨロシト云義ナリ ○當モ同意  
ニテマサニトヨミテベシト反スイヨク正當ス  
ト云意ナリ

○年ハ稔ト同ジ下

重キヲ遠ニ達スル如ク一歳ノ礼教制度ヲ  
 滞リナク行フヲ云虞夏ノ言ナリ 九載  
 績用弗成 乃言底可績三載ナド云 ○  
 高テハ祀ト云毎歳享祀不懈ヲ主トス  
 伊訓ニ惟元祀十有二月ト云大甲ニ惟三祀  
 十有二月相ト云是ナリ ○周デハ年ト  
 云稔穀ニツヒテ之ヲ云ナリ  
 ○敏ハ年早クスル也 敏於事而慎於言  
 人道敏政地道敏樹ナド是ナリ疾也  
 ト訓ス ○疾ハ疾走トツマギ但早キナリ

敏ハ每事文徳ニ帰スルヤフニスル也是語  
 ナリ ○精銳ニ卒ナドスルドキニ  
 孟子ニ其進銳者其退速ナリト云リ  
 ○利ハ利達ノ美ナリ

時辰秋

○四時ニ刻時世ノ別アリ用所テ異シ  
 ○辰モ時ト訓シ又次ト訓ス異ハ四時ニ  
 刻ニツノ次リヲ移シ象ヲ坐ルモノス  
 ○秋ハ八月其獲ト云

万物之所說也下大氏熟之時ナル工八事  
ノ成就スル時ヲ云五月ハ友ノ熟スル時ニ  
麥秋ト云モシカリ

取執兼把兼拵資予

○取ハ捨ノ反ナリ 老子ニ捨彼取此ト云

○執志 執德 執友 執政ナドモツカリ

握ルシ ○左子執筭右手兼翟

右兼白旄 兼燭ナトシヤント云ラ亮シ

○把ハニギリトルシ 柳文ニ不之把玩ト云

○執ハシツカリニキルナリ同下

○兼モ執ノ意ナレシヤント立ル

氣味ナリ 柳風ニ左子執筭右手

兼翟ト云 牧折言ニ右兼白旄以麾  
ト云 金膝系ニ植璧兼珪ト云ニナ  
コシナリ

兼燭ト云モ燭其屋ヲ持テ出テシヤント立テオクナリ

○兼ハ擇ビトルナリ 兼ニ卷耳ナド是

ナリ ○鄭風ニ拵執子之袪トナリ

参ハ合テトラマヘルシ ○易ニ萬物資

始ト云 老子ニ不善人善人之資ト云モ

トテラトルナリ ○檀弓ニ子子乃而可ナ

リト云久ラ子ニトルナリ

富

○富ハ古経テハ有禄ヲ云 貧ハコレナキ

富与貴是人之所欲也 不以其道得之不

處也ト云リ 殷富ハ天下ノ繁昌ナルシ  
饒富ハ何由沢山ナルシ

トモニ  
与 共 具 俱 備 備

○与ハクミスル既ヨミテ肌ヲ合スナリ ○共  
ハ盤庚ニ喜康共ト云 詔ニ衆星共ト云ト  
云一統スラツトムルヲ云 可与共字ト云是  
ナリ△後世供ニ作ルハ意淺シ ○具モソナ  
ワルトモヨムニナキヲソレテツトメルナリ  
俱ハ後ノ字ナリ ○備ハ人皆ノ會意

△供ハ後ニ改メ作りシ字ナリ

○既 問

ナリ 湯誓ニハ予及汝皆亡ト云 孟子ハ  
予及女偕亡ト云 然バ是モ戰國ノヨク作  
レル字ナルベシ 然レ及女ノ中ニ人ノ意即レハ  
人皆ノ字ハヤエニナル 後人ノ字美ニ淺キ  
トシルベシ

及 暨

○及モ暨モ与ト訓ス 是ハ廣訓ナリ  
及ハオヨギツクヤフニ思ナリ 暨ハ既且ノ  
合ニテ既ニミテマアト云意アリ 暨益奉

トモニ  
オヨブ

庶鮮食ト云是ナリ 讓于稷契暨皋陶  
ニツヘケテル辞ニテ及ノ訓ニナルナリ

トコロ  
吊 訪 唁

○吊ハ残念ニ思クヤムシ ○訪ハトムラヒ  
ミマフナリ 王訪テ箕子ト云リ  
○唁ハ亡國ヲト台フナリ 歸唁衛侯ト云リ

トキル  
閑 闔 閼 閻

○天地閑賢人隱ハ否ノ時ナリ 我思不凶

トキル  
閑 閼

ハ輕ク用テ不包ノ意ナリ 閑宮有他ハ重ク  
用テ嚴重ナルラ云 ○易ニ闔戸ノ謂  
之乾闔戸謂之坤ト云 老子ニ天門閑闔  
能為雌乎ト云ハ君臣政教ノ出入ラ云  
○整ハ終ノ反ニテ竜蛇之類也ト云

トキル  
鎖 闔 鍵ヲオロスナリ

トキル  
亨 通 融 適 透 徹 允  
○大氏ニナト通達ノ美ナリ 亨ハ專ラ易  
ニ用エ ○大雅ニ昭明有融ハ蓋ヲ隔テ  
トキル 邠風ニ四國是道ハスルドリ利

トキル  
闔 鎖

○易ニ闔戸ノ謂之乾闔戸謂之坤ト云  
アノ鎖ハヒツシヤ 闔 鍵ヲオロシ  
アルシ

○古クハ々々達スルナリ ○通ハ々々達スル  
トキル 骨通スルナリ ○融モ々々通スル  
トキル 四國是融ト云亦通ジ用ルナリ ○透ハ  
トキル ソノ氣ノ秀トオルナリ ○徹ハ車轍

行トオル如キシ○先ハ設  
滞リナリトオルシ大雅ニ行道  
先矣ト云道スデマギレナクノ  
ナル

△君子攸路 攸寧トトシ是

達スルシ ○透ハソノ氣秀テトオルシ  
○徹ハ車轍ノクルワズトナルガ如シ  
○大雅ニ行道先矣ハマギレナク一スデニトオルシ

所攸

○所ハトントソコヘアタルシ 召伯所爰  
何哉君所為ナドシカリ ○攸ハ攸ト  
シテソノ所ヘテシ 小雅ニ君子攸路ト云  
君陳ニ遠上ノ命從厥攸好ト所ト攸ト別  
明ナリ

朋友侶

○有朋自遠方來トツノ門ヲ同スル人ナリ  
○友ハ一段深ク人ノ志ヲ同スルシ 与朝  
友交ト云是ナリ ○侶鹿豕トハ之ト群  
スルナリ

輩等傳侷

○非卿輩ト云先輩後輩ナド云ツノ器  
ヲ以テ云ナリ ○等夷等品ナド云ツノ  
仲間ヲ云 ○疇人ヲ傳トス同類ノ人ナリ  
○号侷ハ此方共ト云意ナリ



遠遐逝過遼河

○遠ハ近ノ反 遐ハ近ノ反ナリ 不我遐  
 棄ハ間暇ニセヌナリ ○<sup>牧誓ニ</sup>逝矣西土之人  
 夷狄ノ人モアルニシ ○大雅ニ過蠻方  
 ト云ハ蠻方ニ接ルハ中國ト交トハソノ道  
 ヲ易テ遠ルナリ ○<sup>△</sup>河水ヲ河トス 河酌  
 彼行潦ト云リ

解釋說洋脫

○解ハ牛ノ角ニカヲ加ヘ之ヲトク形ナルニ  
 ヘソ首節皮肉心腸ヲ分解スルナリ

○<sup>△</sup>貂走ヲ貂トス 逝ト同シ 遙ニ隔  
 リ遠キナリ

○<sup>△</sup>釈ハ采擇ノ會意ナリ 大雅ニ秋之叟  
 ハスナリ 大雅ニ秋之叟ト云ユレシ  
 ナリ 如クサラシクサツハリトナリトケ  
 テ流ル、如クスルニ ○説モ亦氷秋  
 ノ謂ナリ

○<sup>△</sup>釋ハ采擇ノ會意ナリ 大雅ニ秋之叟  
 ト云米ヲカミシラケルニソノ如ク采擇シテ  
 ソノ加ヲ流シ去ナリ

○<sup>△</sup>先言ヲ説トス 氷ノ渙散スル如シ

○<sup>△</sup>判水ヲ洋トス 氷ノ判渙トシテ流ル、如シ

迨氷未泮ト云リ

鳥禽

○<sup>△</sup>只ミテオハ鳥獸州亦 臺池鳥獸ト云  
 ハ云トリエトスベキ片ハ禽獸ト云 易ノ即鹿  
 元虞ノ象ニ以後禽也ト云ヲ以ミルベシ

禽 停 房

○鳥ライケドリシ如クスルエハ禽ト云○字人  
ラ停ト人キガヒデナキヲ云○驕房ハ驕  
ノ畧ラ謀慮シキトリコトスルナリ

調 諧 奔 整

○調子ノソロフナリ諧モ同シハ音克諧ト  
云リ○截整ヲ奔トスワロヘルシ  
七政 奔之以礼ナト云云リ ○整ハ故在  
セシラアツメト、ムナリ

○調ハシラベノカナマシ 諧モ同キエハ  
音克諧ト云 往哉汝諧ト云モコト  
同シ

止 留 畜 駐 遏 停 尼

○止キ丘隅ハ止住スル所トスルナリ ○亭子  
有為王道行者ト云ヨリ留別ノ字ヲ生ス  
○畜君何怨トハ大切ニスルナリ ○駐騎  
主人ハトモ之ニ似リ ○遏茲ハ音ハ鳴  
物停止ナリ ○停車坐受楓林晚ハ亭  
ノヤフニミヘルナリ

滞 逗

○川流ノ滞ル如ク道滞スルナリ ○蓬蓬  
設シ如ク逗留スルナリ

孟子下意下  
沮君止或尼之  
朱註沮尼皆止  
文ニ意也也加  
尼 六 辛 脂 下 三  
二 舌 濁 泥 下 三  
好 去 聲 泥 下 三  
好 去 聲 泥 下 三

○杜牧ノ詩ニ停車坐受楓林晚トナリ  
亭ノ如クシヤントムルシ

○止行ノ反ナリ

○他山之石可以為錯ト云トイシト及モ  
ヤ玉ヲ錯綜シテ攻リユ名ヲ得カ

トマレル

良竹泊上

○良ラ山トスルニ止ナリト云 ○邨風ニ竹立

以迄トハヒバラク立トスルナリ ○泊ハ船トスル

砥錯

○名貞ニ砥砥磐舟ト云貴哲ニ砥乃鋒

刃ト云 ○小雅ニ他山之石可以為錯ハ

トイシヘ玉ヲスリ合セ錯綜スルヲ云

遂

○大雅ニ戎成不遂飢成不遂ト云 詔ニ成

事不説遂事不説ト云リ

トゲル

咎郵罰尤

○洪範ニ咎微アリ 易ニ无咎ト云 ○

小雅ニ是曰既醉不知其郵之賦ノイツレカ

不知如キヲ云是之ヲ咎ニベキナリ

○尤ハ尤怪ナリ言寡尤ト云リ

埽柴

○埽ハ土ニテ作リシトヤナリ 雞棲干埽ト云

○柴ハ木ヲ分シ棚ヲカケシトヤナリ

雞棲干柴ト云

塗泥濇

トグラ

○ 塗土モドロナリ 塗炭ト云 塗土ニ塗

附ス ト云コナリ 瘁ハヒナリユトヨミ

ヤハリドロシ

二年八月八日頭ヲ書入スル

○ 名貢ニ厥土惟塗泥ト云小雅ニ如塗ニ  
附ト云瘁モドロシ



